

富山市教育委員会 1 月定例会 資料

富山ガラス工房と
所属作家

ガラスと 生きる

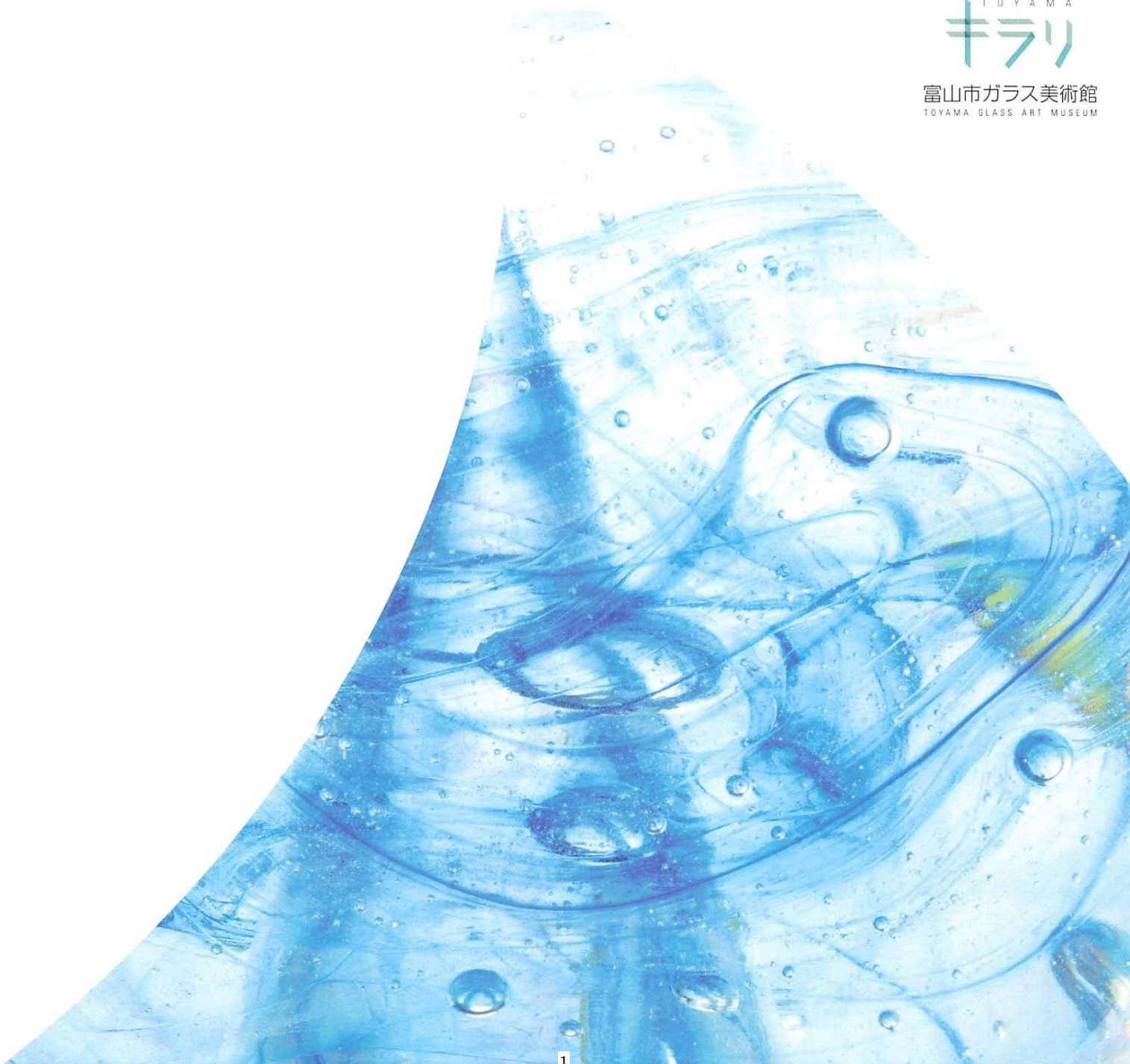
ガラスの街とやま連携展 2024 2.10(土)-18(日) 富山市ガラス美術館 2階展示室1・2

開場時間：午前9時30分～午後6時 主催：富山市、富山市ガラス美術館、富山ガラス造形研究所、(一財)富山市ガラス工芸センター[富山ガラス工房]
(入場は開場の30分前まで) 会期中無休・観覧料無料 後援：北日本新聞社、富山新聞社、NHK富山放送局、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ

同時開催：富山ガラス造形研究所卒業制作展2024(3階展示室3、5階ギャラリー1・2)

TOYAMA
キラリ

富山市ガラス美術館
TOYAMA GLASS ART MUSEUM



ガラスの街とやま連携展

ガラスと生きる

富山ガラス工房と所属作家

ごあいさつ

富山市は、30年以上にわたり、ガラスをテーマとした政策をまちづくりの柱の一つに掲げてまいりました。ガラス作家を育成する「富山ガラス造形研究所」(1991年開校)、文化的産業としてガラスを振興する「富山ガラス工房」(1994年開設)、芸術としてのガラスを鑑賞できる「富山市ガラス美術館」(2015年開館)、この三つの柱を拠点に、富山市は「ガラスの街づくり」を推進する世界でも有数の街です。

その一つである富山ガラス工房は、1994年、制作工房(現・共同工房)にショップを備えてスタートしました、その後2004年、より若手作家の定着を促すために、創作工房(レンタル施設)と発表の場としてのギャラリーを増築、2012年には、多くの方々がもの作りにしたしむことのできる体験工房(第2工房)を整備して、幅広い層の方々にガラスの魅力と可能性を伝え、文化的産業としてのガラスの振興に尽力しています。

本展では、全国の工芸メーカーのブランディングとプロダクトデザインを手掛ける大治将典氏をプロデューサーに迎え、現在ガラス工房に所属する22名の作家の造形をご紹介します。テーマは、「5年後も作り続けているガラス」。加速する情報化社会で、定番として錆びることなくあり続けるガラスに挑戦いたします。また大治氏との協働制作による、今回限りのインスタレーションも併せてお楽しみください。ガラスと生きる街、とやまの底力をご堪能いただければ幸いです。

2024年2月
主催者



プロデューサー
大治 将典 Masanori Oji
Oji & Design 代表 / 手工業デザイナー
日本の様々な手工業品のデザインをし、それら製品群のブランディングや付随するグラフィック等も統合的に手がける。手工業品の生い立ちを踏まえ、行く末を見据えながらデザインしている。ててて協働組合共同創業者・現相談役。2015年高岡クラフトコンペティション審査員、2016年から同審査委員長。2024年中川政七商店主催「地産地区アワード」審査員。
<https://o-ji.jp>

所属作家



勝木 竜二
Ryuji Katsuki
1988年 滋賀県生まれ



菊地 大護
Daigo Kikuchi
1997年 岐阜県生まれ



粟田 和
Nodoka Awata
1996年 兵庫県生まれ



片桐 ひまわり
Himawari Katagiri
2000年 長野県生まれ



佐藤 望美
Nozomi Sato
1993年 宮城県生まれ



古賀 佳織
Kaori Koga
1989年 富山県生まれ



竹内 駿
Shun Takeuchi
1994年 北海道生まれ



竹岡 健輔
Kensuke Takeoka
1996年 神奈川県生まれ



田中 沙弥佳
Sayaka Tanaka
1997年 東京都生まれ



豊岡 智美
Tomomi Toyooka
1979年 長野県生まれ



中尾 雅一
Masaichi Nakao
1977年 奈良県生まれ



名田谷 隆平
Ryuhei Nadatani
1964年 兵庫県生まれ



野田 雄一
Yuichi Noda
1955年 徳島県生まれ



野間 恵花
Ayaka Noma
2002年 大阪府生まれ



林 あいみ
Aimi Hayashi
2002年 大阪府生まれ



古野 伶奈
Reina Furuno
1998年 富山県生まれ



松谷 夏鈴
Karin Matsutani
2000年 大阪府生まれ



まぶち ちか
Chika Mabuchi
1994年 広島県生まれ



宮本 崇輝
Takaki Miyamoto
1985年 東京都生まれ



若色 正太
Shota Wakairo
1997年 東京都生まれ



渡邊 あゆ
Ayu Watanabe
2001年 大阪府生まれ



和田 修次郎
Shujiro Wada
1967年 東京都生まれ

(五十音順)

同時開催 | **富山ガラス造形研究所 卒業制作展 2024** 2024.2.10(土)-18(日) 富山市ガラス美術館3階展示室3/5階ギャラリー1・2

交通アクセス ○富山駅より徒歩20分 / 市内電車(南富山駅前行き)「西町(にしちよう)」下車徒歩1分 / 市内電車環状線「グランドプラザ前」下車徒歩2分 ○富山空港より地鉄バス(富山駅行き)直行36系統「総曲輪(そうがわ)」下車徒歩約4分

TOYAMA 富山市
キラリ 富山市
ガラス美術館
TOYAMA
GLASS ART MUSEUM

〒930-0062 富山県富山市西町5番1号
Tel.076-461-3100 Fax.076-461-3310
toyama-glass-art-museum.jp





YOICHI OHIRA

回顧展
大平 洋一 ヴェネツィアン・ガラスの彼方へ
A Retrospective
Beyond Venetian Glass

2024.3.9 sat — 6.23 sun 富山市ガラス美術館

開場時間 9:30-18:00(金・土は20:00まで、入場は開場の30分前まで) 会場 富山市ガラス美術館 2・3階 展示室1-3
閉場日 第1・3水曜日、3/27、5/8(ただし3/20、5/1は開場)
観覧料 一般1,200円(1,000円)／大学生1,000円(800円) * ()内は20名以上の団体 * 高校生以下無料 * 本展観覧券で常設展も観覧可
前売り券取り扱い(一般1,000円のみ) * アスネットカウンター(Tel 076-445-5511) * TOYAMAキラリ1階総合案内
主催 富山市ガラス美術館 特別協力 バリー・フリードマン・ギャラリー
後援 イタリア文化会館、北日本新聞社、富山新聞社、北日本放送、富山テレビ放送、チューリップテレビ
お問い合わせ 〒930-0062 富山県富山市西町5番1号 Tel 076-461-3100 Fax 076-461-3310 toyama-glass-art-museum.jp
大平洋一《春の目覚め》2002年 個人蔵 撮影: Francesco Ferruzzi Courtesy Barry Friedman Gallery



TOYAMA 富山市
キラリ ガラス美術館
TOYAMA GLASS ART MUSEUM